

県政の動き

10月21日(火)～12月20日(土)

★は写真入りで紹介

10月25日(土)～28日(火)

★ねりんピック2008 鹿児島

10月29日(水)

「九州・山口の近代化産業遺産産群」
関係県知事・関係市長会議開催

10月31日(金)

本格焼酎の日記念イベント
キバレー本格焼酎フェアIN東京

11月1日(土)

★「伊佐市」誕生

11月1日(土)～3日(月)

★「森に学ぶ」プロジェクト in 屋久島

11月4日(火)

★平成20年度県民表彰

11月4日(火)

★平成20年度鹿児島県国民保護実動訓練

11月7日(金)

新型インフルエンザ総合訓練

11月9日(日)

★九州森林の日「植樹祭!! 美しい森林づくりinかごしま

11月12日(水)

2008鹿児島県新特産品コンクール表彰式・講演会

11月16日(日)

★ラジル鹿児島県人会創立95周年および
県人移民100周年記念式典

11月19日(水)～20日(木)

「地域力創造」全県市町村長サミット2008 in 鹿児島

11月21日(金)

八ッ木ウ群落散策路開通式

11月21日(金)

県地球温暖化対策懇話会

11月29日(土)

県畜産物PR・消費拡大キャンペーン

11月30日(日)

共生・協働シンポジウム

12月10日(水)

「あなたがまちが元気になる」地域デビューのすすめ
県下一斉飲酒運転根絶街頭キャンペーン

10月25日(土)～28日(火)

ねりんピック鹿児島2008

「かごしまで 元氣・ふれ合い・ゆめ噴火」をテーマに全国健康福祉祭「ねりんピック」を開催した。

県内10市3町の会場で25種目のスポーツと文化の交流大会を行ったほか、健康、福祉、生きがいづくりに関するさまざまなイベントを実施した。

全国の選手・役員約1万人をはじめ、県内外の観客などを含め延べ約54万人の参加があった。かごしま大会は、多くのボランティアの方々などの協力を得て、「県民総参加」の大会になるとともに、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を県内外に情報発信することができた。

11月1日(土)

「伊佐市」誕生

平成20年11月1日に、旧大口市と旧菱刈町が合併して、「伊佐市」が誕生した。

旧大口市役所で行われた開庁式には、旧市町や県の関係者が出席し、新しい庁舎銘板の除幕やテープカットが行われ、神園市長職務執行者が、「旧大口市と旧菱刈町の職員が一体となり、スピードアップしたまちづくりに頑張りたい」と挨拶した。

伊佐市の誕生により、県内の市町村数は、「平成の大合併」前の96から45(18市23町4村)となった。



11月1日(土)～3日(月)

「森に学ぼう」プロジェクト in 屋久島

昨年4月に「かごしま環境パートナーズ協定」を締結した南九州コカ・コーラボトリング株式会社などと県との協働事業として「森に学ぼうプロジェクト in 屋久島」を開催した。



当日は、県が任命した「かごしまごも環境大臣」や日本「カコーラ株式会社」が全国から募集した「森の博士特派員」、屋久島町立神山小学校の児童など、小中学生計26人が参加した。ヤクスギランドでの自然体験学習や森のクイズ作り、屋久島町長への取材などを行い、互いの親睦を深めながら環境への意識を高めた。

今後、子供たちがこの経験を地域や学校で生かし、環境保全の環が広がることを期待される。

11月4日(火)

平成20年度県民表彰

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰している。本年度は5人の方々を表彰した。



前列左から、田上さん、大西さん、今給黎さん、慶田さん、田代さん

《地方自治部門》

今給黎 久さん(元 枕崎市長)

枕崎市長として、3期12年にわたり、水産業の振興や地域資源を生かした観光の振興を図るなど、地域社会の発展に尽力されるとともに、鹿児島県市長会副会長等の要職を歴任されるなど本県地方自治の伸展に大きく貢献された。

《教育文化スポーツ部門》

慶田 昌子さん(鹿児島県箏曲会副会長)

箏曲家としての長年の演奏活動を通じて、箏曲等の邦楽の普及や地域文化の振興に尽力されるとともに、鹿児島県箏曲会副会長等として、後進の指導育成に努められるなど、本県の芸術文化の充実・発展に大きく貢献された。

《産業経済部門》

大西 洋逸さん(元 鹿児島商工会議所会頭)

鹿児島商工会議所会頭や県商工会議所連合会会長として、商工業の振興や中小企業の育成等に尽力されるとともに、産業基盤の整備拡充等に取り組まれるなど、幅広い活動を通して、本県の産業経済の発展に大きく貢献された。

田代 哲之さん(鹿児島大学名誉教授)

鹿児島大学農学部教授等として、獣医学についての研究や獣医師の育成等に努められるとともに、畜産農家が安心して経営を行える環境づくりにも尽力されるなど、本県畜産業の振興に大きく貢献された。

《くらし・環境部門》

田上 容正さん(医療法人義順顕彰会理事長)

種子島地域の医療を長年にわたり支え、離島医療の向上に尽力されるとともに、熊毛地区医師会会長等として、地域医療体制の整備に努められるなど、住民のくらしの向上と地域社会の発展に大きく貢献された。

11月4日(火)

平成20年度 鹿児島県国民保護実動訓練

大規模集客施設における化学テロ発生時の対応能力の向上や関係機関相互の機能確認および連携強化などを図るため、鹿児島市民文化ホールにおいて、サリン系化学剤の散布により多数の被災者が発生した想定で、国民保護実動訓練を実施した。



警察、消防、自衛隊、医療機関など14機関約160人の参加のもと、サリン系化学剤で汚染された被災者の救出・救助や除染、トリージ、応急救護などの訓練のほか、現地において各機関の活動の総合調整を行う現地調整所設置訓練を行った。

11月9日(日)

「九州森林の日」植樹祭!! 美しい森林づくりinかごしま

九州7県および九州森林管理局は、森林を九州各県民の共有の財産として守り育て、未来に引き継ぐことを目的に、11月第2日曜日を「九州森林の日」として制定した。

本県では森林環境税を活用して「県民の森」で植樹祭を開催し、県民・森林ボランティア・企業など約600人の参加のもと、35種類約1700本の植栽を行った。九州各県から提供された苗による「九州の森林」や、蝶や昆虫が集まる「昆虫の森林」「稀少樹種の森林」などを造り出した。

また、高性能林業機械(プロセッサ・フォワード)による造材・集材の実演も行い、県民の森林・林業への意識の醸成を図った。



11月16日(日)

ブラジル鹿児島県人会創立95周年 および県人移民100周年記念式典

平成20年11月16日、サンパウロ市において、ブラジル鹿児島県人会創立95周年および県人移民100周年記念式典が、約800人の参加のもと、盛大に開催された。県からも、伊藤知事を団長とする鹿児島県ブラジル友好親善使節団計91人が参加したほか、アルゼンチンおよびパラグアイの県人会役員らも駆けつけ、記念すべき節目を祝い、相互の親睦を深めるとともに、先人達の労苦をねぎらった。



ブラジル県人会は、会員世帯数1740世帯、最高齢会員は103歳である。ブラジル移民1世から6世までが集う式典では、知事による功労者等表彰や、県人会による郵便記念切手発行の発表なども行われ、県人会の発展と更なる母県との交流を誓った。